

ケティーブとケレー

ヘブル語写本の本文 (テキスト) をケティーブ (KETHIBH--(כתיב) 'it is written' 書かれているもの)) と呼びますが、写字生が明らかに誤って書き写したか、あるいはこれが正しいと思って書き直されたものでも、後になってこの本文が直接修正されることはありません。誤った本文はそのままにされ、確認された誤りの修正は余白や脚注になされます。この修正されたものがケレー (QUERE--(קרי, 'to be read' 読まれるべきもの)) と呼ばれます。このようなことがなされるのは、本文に対して非常な敬意が払われており、本文をみだりに変更しないようにしているためです。

出典： A PRACTICAL GRAMMAR FOR CLASSICAL HEBREW
SECOND EDITION BY J. WEINGREEN, M.A., PH.D.
CLARENDON PRESS • OXFORD
OXFORD UNIVERSITY PRESS NEW YORK